

きく広げていくことであり、自分では知り得に取り組んでいくことは、自分の可能性を大

読み応えのある国語や読解に窮する英語など

を課してそれに取り組んでみたら良い。

歩先に踏み込む勇気をふるってほしい。

なかった自分の力強さや深淵さを知ることに



校の卒業生(二十三

行くとして可ならざるはなし」

恒

一学年修学旅行

の自由研修後、が多かった。午

8、六本木ヒルズに集合 午後からの各班単位で

七日~十九日の 旅行は、七月十 十九日の修学

あって、会場の雰囲気は徐々に盛り劇場での本格的なミュージカルだけキャッツ」鑑賞に向かった。専門のし、劇団四季によるミュージカル「

日間東京を中

地

上がっていき、

一時間三十

はあっという間に終わった。

三日目は、東大キャンパス訪

一日目からの 区で行われた。

てみると、初日旅程を振り返っ てみると、

弘子経済・財政

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433 //www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

		以	夫
8月・9月の行事予定			
		8 月	の世
1	水		にや
2	木	夏季悠学講座1・2年終了 講悠	つて出
3	金	夏季悠学講座3年終了 座子	-
4	\oplus	同窓会総会	来
5	$^{\oplus}$		ないこ
6	月	学校体育実技来所研修	こレ
7	火	(体育館使用)	とは
		歴児島・岐阜スポーツ交歓会	ない。
8	水	(体育館終日使用)	0
9	木		
0	金		2.0
	(1)		がり
3	<u>①</u> 月		に
	火火		気
5	水		づき
_	木		き、
	金	前期授業再開 平	感
•	717.	定期演奏会	銘
8	⊕	学研ハイレベル模試 (2年) 全統マーク模試 (3年)	を受
9	(F)		マけ
0	月	-	た
1	火	前期末考査時間割発表常授	生
2	水	業	徒
3	木		
4	金	夏季休業	
5	\oplus		2
7		夏季休業	
8	月火	夏字怀呆 前期末考査(1日目)	
	水		
0	木	前期末考査(3日目)	E
1	金	前期末考査 (4日目)	
1	717.	PTA研修旅行 中掃除	8
	_	9 月	
1		悠学講座	
3	<u>П</u>	全校朝会	
4	火火	主权物云	は
	水		~
		体育祭準備·予行	しに
J	//\	3年1限授業	埠
7	金	体育祭予行予備日 学校安全の日	L
8	土	体育祭	大繁
9	1		盛
		体育祭代休日	てあ
1	火		
2	水土		た
3	木	3年校内模試(1日目)	
	金	3年校内模試(2日目)	
	₾	1, 2年悠学講座	
	(H)	Hu	
_	(II)		
8	火土	月曜校時 学年朝会	
9	水木		
1	木金		
	<u>т</u>		
		秋分の目	
) (II)		
5	火	前期終業式	
	_ \ _dc	大掃除	

26

秋季休業日

秋季休業日 秋季休業日

る。」ことはその後の人生において、 輝きを放つ為の力となり得る。 ら分かり易く話された。 さて、人が生きていく上で、

|予想だにしなかったことでもあり、今年の 劇に厭うて閑に走る。」悪癖をなくし、「与 生きることの大切さと、仕事は畢竟自分のた 長さんらの御尽力により実現したもので当初 わざわざ駆けつけて頂き、三十分足らずでは えられた今を精一杯生きることの大切さを知 らずいつまで経っても宿志を達成できないよるという、People Winded な生き 結果でしかない喜びであった。 あったが後輩達への激励の言葉を頂いた。 うなことは意外に多く、いっそ全てを捨てて「方であるし、 (来し方を踏まえつつ、その時々を精一短い時間ではあったが、大田大臣は、 生にとっても、まさに僥倖に寄り添われた これは、東京鶴丸会(関東鶴丸同窓会)の会 「フォア・アザーズ」の言葉を引用しなが かし、若い時に「難を捨てて易につき、 過ぎの二年生の修学旅行では、本 人の為になっているということ 祖当大臣に、激務の合間に |回生) で現職大臣である大 意のままにな 大きな 自ら だった。お忙しい日程らら激励のご挨拶をいたら激励のご挨拶をいたいたがあればりまればいた。 それは、自分の置かれた場で最善ついてメッセージをいただいた。大臣から、鶴丸生へ「生き方」に 大臣から、鶴丸生へ「生き方」にタワーまで駆けつけてくださった を尽くし人々の立場で物事を考え さて、 !。お忙しい日程のなか東京のご挨拶をいただけたこと 当、大田弘子大臣かントは何と言っても 鶴丸の For Others

中で、

故もなく無事に学校へ帰着できた。

・三名出たが、全体的には大きな事れそのユーモアと温

ながら、羽田空港へと向かった。いう間に集合時間となった。時間がいる間に集合時間となった。時間が

散策と見学をしているうちにあっとさった。最後の訪問地お台場では、

ではなく、

となく、「方公出でずんば」の強い決意で一鶴丸高校の驥尾に付して漫然無為に過ごすこ気を秘めた者が少なくない。この上は、徒に気を秘めた者が少なくない。この上は、徒に鶴丸高校の生徒諸君は、幸いに機智縦横の才 6、猛暑の中に、手応えのある数学や物理、課してそれに取り組んでみたら良い。例えそのため、今年の夏は、自分に大きな課題 Jとすら時にはある。 た。気さくで飾らず、芯の強いお 「界無住の巡礼などになりたい、などと思うを実践されている処世観でもあっ た。 達は大興奮・大満足の様子であっ をは大興奮・大満足の様子であった。 としては考えられないくらい人出た。雨模様が幸いして、この時期のイベント会場や乗り物を目指し ちは雨をものともせず、にく小雨模様だったが、 人柄が強く印象に残った。 ズニーリゾート訪問である。あ 午後からは楽しみの 鶴っ子た お目当て デ 11 ばかりである。 が続々と入った。私たちの今後の したことを誇りに思うと





参加者があった。中学生は体育館に集まりの中、昨年よりも百名ほど多い六百九名の学が行われた。今年も、うだるような暑さ はいつもに増して大繁盛であった。の期待をふくらませたようだ。当日の食堂 会執行部から聞いた後、積極的に質問をし学校の紹介や行事等の説明を、職員や生徒 たり、 七月二十七日(金)、中学生日帰り体 授業見学をするなどして高校生活

なお、東大の案内をしてくれた支えたという認識を新たにした。識の高さが今回の修学旅行の成功を確画・運営と生徒・職員の目的意 り方を支えてくれるありがたい言葉 度に感動し、自分たちが鶴丸を卒業 先輩たちから、後輩の素直な姿・態 いうメー 在ル

は、テレビでの製茶CMでお馴染みは、テレビでの製茶CMでお馴染み (先生) 無風風の「スペインと熱いなるとないない。 爽やかなのなる もに私達に、演奏は感動 る元気を与 くださった。 とと

ャンパスに集まり、案内をしてくだしく荘厳な音色が響き渡り、吉嶺先丸邸・60の東大生が十二名も本郷キ沢のあるテナーリコーダーからは優から始まった。大学院生も含めて鶴もので、ローズウッドで作られた光 で、やや体調のすぐれない者も二には、先生の優しいお人三日間の盛りだくさんの行程途いるヘアスタイル等につ 分の公演 招きして芸術鑑賞教室が行われた。 激していた。 生の体全体を使った演奏に生徒も感 等派遣事業」の一環として実現した た高校時代のことや現在気に入って クフルート奏者の吉嶺史晴先生をお しく荘厳な音色が響き渡り、 これは、文化庁の「学校への芸術家 曲の合間に先生が話してくださっ |日(二学年対象)の七限目にブロッ 六月二十五日(一学年対象)と七月 芸術鑑賞 吉嶺先 ように、

《記憶と生活リズムの関係》

6:00 12:00 23:30 (起床) 脳はボーっと 覚える 注意集中力 の必要な 勉強 考え込む 勉強 勉強

約3時間

が理想的ですが、多 証明されています。 記憶が持続することが うがずっと強く長期間 夜間に睡眠をとったほ 整っていれば問題ありま 短くても、生活リズムが っ子」を見てみましよう! が充実した夏を過ごす 質の良い睡眠をとること ポイントになりそうです 規則正しい生活を送り 詳しくは保健便り「鶴 ん。同じ時間を使って 、徹夜で勉強するより (疲れがとれる程度) 間は6~7 まれていった。最後に演奏された曲 先生の優しいお人柄が感じら かさに皆惹きこ いてのお話 薬物

なくてもいいように、 らいいように、自分の欲求に打ち克酒・煙草・薬物などの誘惑にのら お見出しましょう。 きるリフレッシュ方 一日の学習法の提案係を考えた効果的な関いに挙げるのは記 ち、ストレス解消で

保健講話の中の惠谷先生のお話でもあったうことが大切です。また、六月二十七日の うことが大切です。また、管理をしっかりして、暑さ 有意義な夏を過ごすためには、

よいよ本格的な夏がやってきまし また、六月二十七日の、暑さと上手く付き合ためには、自分の体調